



日本で最も美しい 小さな村 鶴居村



鶴居村基礎データ

総人口	2,403人 (R7年4月末現在)	製造品出荷額	761百万円 (R3経済センサス)
高齢人口 (高齢化率)	835人 34.7% (R7年4月末現在)	卸・小売年間販売額	5,377百万円 (R3経済センサス)
世帯数	1,193世帯 (R7年4月末現在)	一般会計規模	5,021,000千円 (R7当初予算)
人口密度	4.2人/km ²	村の木	シラカバ
面積	571.80km ²	村の花	コスモス
農業産出額	1,021百万円 (R5市町村別農業産出額)	村の鳥	タンチョウ

鶴居村の紹介



冬のタンチョウ

鶴居村は、ひがし北海道の阿寒湖と釧路湿原の間に広がる人口約2,400人の小さな村です。村名の由来ともなる特別天然記念物タンチョウ（鶴）は村のシンボルであり、人とタンチョウが共生する自然豊かな村として知られています。

酪農を主産業とし、農業生産基盤の整備や酪農経営の近代化などに取り組みながら、北海道で国内の食料自給確保のため、地域を挙げて良質な生乳生産に努めています。この生乳を使用して加工された「ナチュラルチーズ鶴居」は、オールジャパンナチュラルチーズコンテストにおいて、最高賞を含む数々の賞を6大会連続で受賞し、北海道チーズ博2022ハード・セミハード部門では1位に輝くなど、

多くの人にその品質が認められ、村の代表的な特産品となっています。

村の最大の魅力は、その「美しさ」です。雄大な自然に囲まれ、牧草森林地帯が広がるのどかな村で、「日本で最も美しい村」連合にも加盟しています。美しい景観、多様な生き物が生息する豊かな自然環境、村民が日々生活する環境など、この美しい村を未来へつなげ、「誇りある美しい鶴居村をつくる」ことを目標に令和6年に景観計画も策定し、村全体で美しい村づくりに取り組んでいます。



「ナチュラルチーズ鶴居」と山幸ワイン「クロンヌルージュ」

鶴居村とタンチョウ

絶滅したと思われていたタンチョウは大正13年に鶴居村で再発見されました。その数は

わずかに10数羽でしたが、村民や関係者による地道な保護活動が実を結び、現在では約1,900羽にまで回復しました。鶴居村は1年を通じてタンチョウが生息する「鶴に選ばれた村」です。

冬季には「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」と「鶴見台」で、国の事業の一環としてタンチョウへの給餌活動が行われており、日本に生息するタンチョウの約3分の1が鶴居村に集まります。両給餌場は身近にタンチョウが観察できる場所となるため、冬には大勢の観光客やカメラマンが訪れます。



鶴見台での給餌風景

行政と地域住民とで組織する「鶴居村タンチョウと共生するむらづくり推進会議」では、地域とタンチョウとの共生に向けた取り組み「タンチョウ鶴居モデル」の構築に向けて協議をしています。協議により定めた将来像に向けて、観察場所の環境整備や観光客向けの観察ルールづくり、基幹産業である酪農業との摩擦解消に向けた活動などに取り組んでいます。

村内の小学校では、タンチョウの冬の餌となるデントコーンを種まきから収穫、ほぐすところまで自分たちで作業する「タンチョウのえさづくりプロジェクト」を授業の一環として行っています。この授業は当たり前のように村内で行われている「タンチョウへの給餌活動」に間接的に関わりながら、タンチョウや保護活動に興味関心を持ってもらおうと平成20年より始まった鶴居村ならではの授業です。

鶴居村は豊かな自然環境に恵まれ、タン

チョウをはじめとする多くの生きものが生息する村であり、そんな生きものたちに愛情を注ぐ住民のくらす村なのです。

鶴居村のみどころ

●アドベンチャーツーリズム

鶴居村では、令和6年度より地域の自然や文化的資源を活かしたアドベンチャーツーリズムの推進に取り組んでいます。その一環として、「鶴居村釧路湿原観光コンテンツ創出事業」を立ち上げ、釧路湿原国立公園エリアの魅力を最大限に活かす観光コンテンツの開発と、持続可能な観光体制の構築を進めています。本事業は、環境省の「国立公園アドベンチャートラベル展開事業」の支援を受けて展開しており、令和7年度も引き続き、同省の「国立公園における感動体験・アドベンチャートラベル創出事業」の支援を受け、地域に根差した観光の持続的な発展を目指しています。



釧路湿原の一部風景

●緑豊かな酪農景観

主産業が酪農の鶴居村。広大な牧草地と点在する牛舎、そしてのんびりと草を食む乳牛たちがつくり出す、北海道らしい雄大で牧歌的な風景が魅力です。朝霧に包まれる早朝や、夕陽に染まる黄昏時には、まるで絵画のような美しさが広がり、訪れる人々の心を癒してくれます。放牧されている風景は、5月中下旬から10月上旬までご覧いただけます。

●クラフトビール醸造所

廃校となった小学校の体育館を利活用したクラフトビールの醸造所が2022年にオープンしました。学校の素朴な外観は当時のままに、醸造工程を見学できる通路やビールの直売所を新たに整備し、訪れられる場所として蘇りました。体育館のステージが改装された醸造所内にある販売所では、定番のものから道東限定販売のクラフトビールまで様々なものが購入できます。

鶴居村4大まつり

鶴居村には年間で4つのお祭りがあります。

●つるい納涼まつり

夏の夜に開催されるビアガーデンです。毎年7月中旬～下旬に開催され、多くの露店が出店して賑わいをみせます。



牛乳早飲み競争

●鶴居ふるさと盆踊り・花火大会

大人も子供も輪になって盆踊りを楽しみ、暗くなったら音楽に合わせて花火が打ち上げられます。間近で見る花火は迫力満点です。



盆踊り

毎年8月14日に開催されます。

●鶴居村ふるさとまつり

「産業まつり」や「丹頂まつり」が前身で、「牛乳早飲み競争」や牛の鳴きまねを競い合う「モーモーコンテスト」など、酪農にちなんだ来場者参加型イベントが特徴的です。毎年9月23日に開催され、露店やバーベキューコーナー、牧草ロール神輿など飲食やイベントを楽しむ村最大のお祭りです。



牧草ロール神輿

●タンチョウフェスティバル

村の象徴でもあるタンチョウにちなんだお祭りです。タンチョウ観察のピークである2月に開催され、氷水の中に裸足の片足立ちで何分耐えられるかを競う「耐寒競技」や「鳴き声コンテスト」などが見どころです。毎年2月上旬～中旬に開催されます。

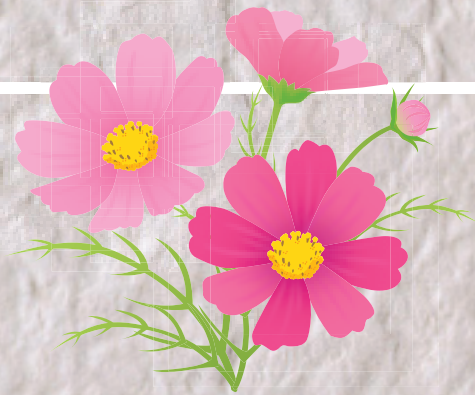


耐寒競技

鶴居村の四季



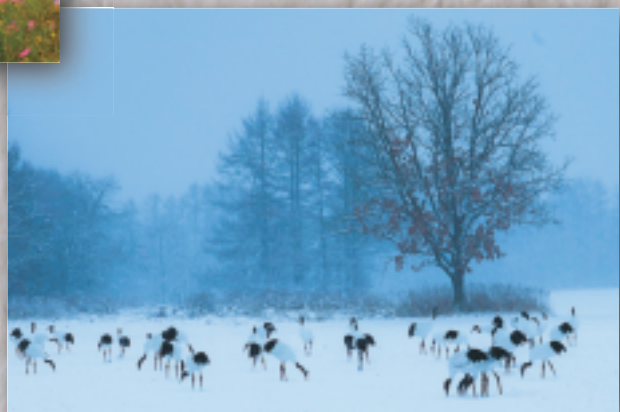
【春】牧草と一本桜



【夏】放牧風景



【秋】秋桜とタンチョウ



【冬】タンチョウと冬景色